

いわた 文化財だより 第201号

目次

- 江戸時代から続く伝統の白酒造りと神事・P1～2
- 中央図書館で展示・学習会を開催します！・・・P3
- かすりの着物体験を開催しました・・・P4
- 気分は古代人!?土器づくり体験
詰石麻貴・・・P4

磐田市教育委員会教育部文化財課 令和3年12月1日発行

江戸時代から続く伝統の白酒造りと神事

磐田市指定 無形民俗文化財（平成17年11月21日指定）

はくさん 中野白山神社 例祭（白酒）



今年の民俗行事は、新型コロナウイルス感染症のため、中止せざるを得ないものがありました。そうした中でも、行事伝承を守るため、感染対策をとりつつ、所作の一部を省略して実施した行事もありました。民俗文化財・行事を伝える方々は苦渋の決断をした年だったのではないのでしょうか。来年はいつも通り行事がおこなわれることを祈っています。

さて、今年の豊浜中野に伝わる磐田市指定無形民俗文化財の『中野白山神社例祭（白酒）』も、感染症対策に配慮しながら、氏子総代が中心となり10月10日におこなわれました。文化財課はこの行事の様子を調査・撮影しました。今回はこの行事を紹介します。

中野白山神社 例祭（白酒） 中野白山神社の例祭では、神前に供える御神酒（白酒）を氏子から選ばれた杜氏が造ることから「どぶろく祭り」とも呼ばれています。江戸時代、白酒を神前に供え村中の安全を祈願していましたが、ある年、これを取りやめたところ、疫病が村中に流行しました。このことからそれ以来、酒造りを欠かさず、白酒を神前に供えるようになったと伝わっています。神事が終わると白酒は氏子に配られ、疫病退散を願い一同で飲み交わされます。



なおり
地区を挙げての直会
（昭和56年頃 賑やかな境内）
直会…神事が終わった後に、神に供えた御神酒を参加者でいただくこと

豊浜中野 『中野白山神社 例祭（白酒）』

を伝える豊浜中野は太田川の左岸に位置します。室町時代頃には集落が営まれ、中野白山神社の社宝には鎌倉時代に描かれた静岡県指定文化財『絹本 著色 釈迦十六善神画像』けんぼんちやくしよくしゃかじゅうろくぜんしんがぞうなどがあります。また、「お箱」と呼ばれる民俗行事『中野白山神社例祭 十日祭（お箱）』（文化財だより 179号参照）も伝わっています。



中野白山神社

南から豊浜中野を望む（左側に太田川）

白酒造り この行事の特色は白酒造りです。地域から選ばれた杜氏3人が9月の道具の準備から、仕込み、発酵管理まで担います。米は地区内で収穫されたものを使用し、酒造りは境内の社務所でおこないます。発酵が始まってから、杜氏は毎日、良い白酒になるよう温度を確認し、かくはん攪拌などをおこないます。



道具の準備（9月17日）

白酒を仕込む大樽は水漏れを防ぐため、水を入れ樽木を膨張させます。



種酒造り（9月19日）

米と麴・水を混ぜ発酵させ種酒を作ります。この種酒を大樽に入れ、さらに米と水を加えます。



発酵の管理

杜氏は毎日、温度を計り、発酵の状態を確認し、適切な温度・状態を保つ作業をおこないます。

神前に 杜氏により丹精込め造られた白酒は神前に奉げられ、神事が終わると地区の皆さんに配られます。地区に住む人々は氏神様と同じ白酒を飲み、地区の安泰を願います。今年の白酒を頂いた古老はプチグルメ評論家になり「今年の白酒はまるやかだ・・・」などと語り合います。



神事の様子（平成28年撮影）

ここだけ 現在、静岡県内で行事のために白酒を造っている場所は中野白山神社と、おくに小国神社（森町）、河津来宮神社（河津町）だけです。なかでも中野白山神社だけは地域住民全員で白酒を頂いています。今回撮影した記録は、図書館などでご覧いただけるように現在DVDに編集作業中です。ご期待ください。



白酒を頂きにきた住民（班長宅）
現在では地区の皆さんには、隣組の班長（組長）を通じ配られます。

今回の文化財だよりにより使用した写真は、撮影した年が記載されたもの以外は令和3年に撮影したものです。

中央図書館で展示・学習会を開催します！

ながふじ学府小中一体校開校記念・学制発布 150 年

歴史資料から見た磐田の近代教育

～校務日誌・沿革誌から探る～

12月17日（金）まで歴史文書館で開催中の企画展を、来年1月8日から中央図書館展示室で開催します。

また、1月9日（日）には歴史学習会を開催しますので、ぜひご来場・ご参加ください。

展示情報

いずれも無料



企画展展示室

近代日本の小学校教育の原点「学制」発布から150年、また今年4月に「ながふじ学府小中一体校」が開校したことを記念し、磐田の近代教育に焦点をあて展示をしています。見付学校の創設と校舎建築に代表される「磐田の近代初等教育」の進展、人々の教育にかけた熱い思いや願い、尽力・支援、苦労等について、各学校に残された「沿革誌」「校務日誌」を資料として探っていきます。

開催中～令和3年12月17日（金）

みどころは文化財だより199号で紹介しています！



□ 休館日 4日（土）・5日（日）・11日（土）・12日（日）

□ 時間 9:00～17:00（入場は16:30まで）

□ 会場 磐田市歴史文書館（竜洋支所内）

令和4年1月8日（土）～16日（日）

□ 休館日 10日（月）

□ 時間 9:00～18:00（土・日は17:00まで）

□ 会場 磐田市立中央図書館展示室

袖浦尋常
小学校
『学校沿革誌』



豊浜尋常小学校
『校務日誌』（市指定）

歴史学習会「学校に眠るたからもの」

参加無料

□ 日時 令和4年1月9日（日）13:30～

□ 会場 磐田市立中央図書館2階 視聴覚ホール

□ 講師 和崎 光太郎氏

（東京福祉大学保育児童学部准教授、歴史文書館運営審議会委員）

□ 定員 30名（先着順）

□ 申込 12月24日（金）9:00～ 電話で歴史文書館へ
（1人につき受付は2名分まで）

※新型コロナウイルス感染拡大などにより変更となる場合があります



富岡尋常高等小学校鬼瓦

ご来場・申込
お待ちしております！



問合せ・申込 磐田市歴史文書館 磐田市岡 729-1（竜洋支所内）
TEL:0538-66-9112 FAX:0538-66-9722

歴史文書館
イメージキャラクター
文字朗



かすりの着物体験を開催しました

10月31日に旧見付学校、11月13日に旧赤松家記念館でかすりの着物体験を開催しました。

当日は、かすりの着物を身に着けて、施設内を見学・体験学習をしたり、羽子板や竹とんぼなどの昔の遊びを楽しんだり、見付の町を散策したりしました。



石盤で文字を書く様子（旧見付学校）



かすりの着物を着て見付の町を散策

かすりの着物体験を通じて、地域の歴史に興味を持ってもらったり、磐田をもっと好きに、自慢に思ったりするきっかけになればと思います。

しっぺいと内蔵の前で記念撮影（旧赤松家記念館）

参加者からは、「磐田の歴史に触れられてよかった。」「また参加したい。」「普段は体験出来ないことが出来て良かった。」「子どもと旧見付学校を訪れるきっかけになりました。」などの感想をいただきました。



職員リレー コラム

気分は古代人！？ 土器づくり体験

詰石 麻貴

文化財課では、市内の小学生を対象に、磐田の歴史を楽しく学べる「ふるさと歴史たんけん隊」を毎年開催しています。先日、その3回目の活動『古代人の気分になって、オリジナルの土器を作ってみよう！』を担当し、たんけん隊の隊員の皆さんと土器づくりをおこないました。

土器を作る手順やコツを一緒に作りながら伝えるのですが、隊員からは「楽しい。」「もっと作りたい。」という声のほかに「作り方もデザインもシンプルなのに本物に似せるの難しい。」といった声もありました。

そうなんです！本物に似せようとすればするほど奥が深い、土器づくり。理想の形に粘土を重ね、土器の厚みを維持しつつ外側は勿論のこと内側の滑らにすることの難しさ、加えてたんけん隊の土器は電気窯で焼きますが、古代人は野焼き、、、

気分は古代人！？いやいや、リスペクト古代人！！実際に体験するからこそわかるその凄さ。改めてその技術の高さを考えさせられました。



左：詰石作成土器

右：古代人作成弥生土器

編集後記 151～200号までをまとめた合冊版を作成中です。表紙を飾る文化財は何にしようか、訂正箇所の確認などなど日々作業を進めています。お楽しみに！

発行：磐田市教育委員会事務局教育部
文化財課(磐田市埋蔵文化財センター)
住所：〒438-0086 磐田市見付 3678-1
電話：0538-32-9699



◆WEB版は市HPから閲覧できます。 [磐田 文化財だより](#) [検索](#)